

どう考える。
原子力エネルギー



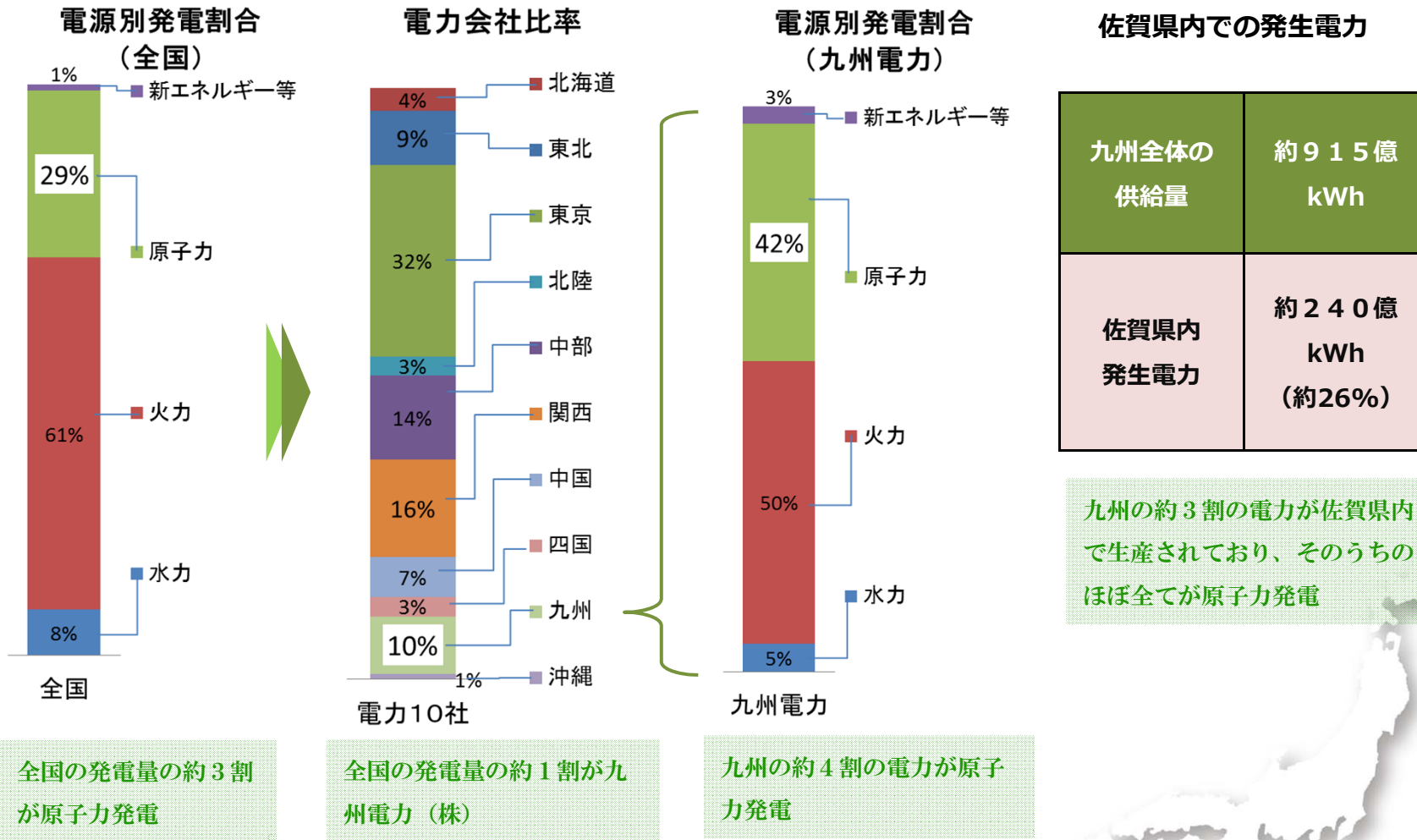
2011.5.30 (Mon)

佐賀県知事 古川 康



全国の電源別発電割合と佐賀県内での電力生産

※2009年度実績をもとに作成





玄海原子力発電所の概要

佐賀県東松浦郡玄海町に立地



- ▶ 玄海2号機、3号機は定期検査で停止中
- ▶ 玄海1号機、4号機は運転中

1号機	55.9万kW	昭和50年10月営業運転
2号機	55.9万kW	昭和56年3月営業運転
3号機	118万kW	平成6年3月営業運転
4号機	118万kW	平成9年7月営業運転





福島第一原子力発電所事故を踏まえた 玄海原子力発電所に関する県としての対応について（1）

主な経緯

年月日	主な経緯
平成23年 3月11日	東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)発生
3月18日	九州電力副社長が知事に対し、福島第一原子力発電所の事故状況、及びこれを踏まえた玄海原子力発電所の対応状況について説明
3月24日	九州電力は、定期検査中の玄海2号機、3号機について発電再開延期を公表
3月30日	国は電気事業者に対し、福島の事故を踏まえた緊急安全対策の実施を指示
4月26日	原子力関係道県の有志の知事による会合を開催 知事が経済産業大臣に対し要請書を提出
5月6日	国は、事業者の緊急安全対策が妥当である旨の確認結果を公表 内閣総理大臣が中部電力に対し、浜岡原子力発電所の運転停止を要請
5月9日	経済産業大臣が「現在運転中の原子力発電所について運転を継続すること及び起動を控えている原子力発電所が運転を再開することは安全上支障がないと考える。」との談話を公表
5月16日	原子力発電関係団体協議会で国への緊急要請について協議
5月17日	緊急安全対策の確認結果などについて、原子力安全・保安院から説明聴取
(予定)	原子力発電関係団体協議会から国に緊急要請



福島第一原子力発電所事故を踏まえた 玄海原子力発電所に関する県としての対応について（2）

【基本】：安全性の確保を第一に、原子力発電の必要性を考慮しながら検討を進めていく。

基本的な考え方

1. 国に対して、次の点について考え方を説明するよう求めている。

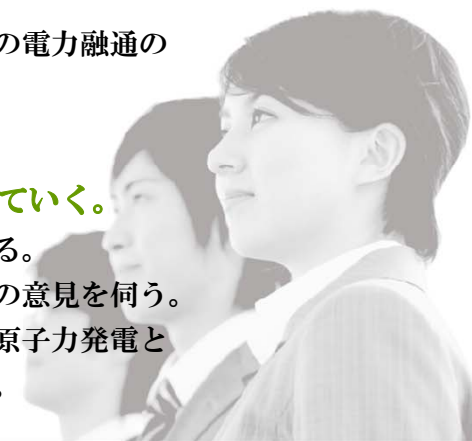
- (1) 原子力安全・保安院は緊急安全対策で津波対策だけを行うこととしているが、先行する地震動により被害が発生したのではないか。
- (2) 国が停止要請を行った浜岡原発以外の原発については、安全性は大丈夫ということであるが何故そうなるのか。
- (3) 福島第一原発3号機でMOX燃料を使用していたことで、環境への影響がなかったのか。
- (4) 全国の電力需要と電力供給の見通しや、各電気事業者間の電力融通の見通しをどう考えているか。

2. 九州電力に対して、次の点について説明を求めている。

- (1) 九州電力管内における電力需要と電力供給の見通しや、他の電気事業者との電力融通の見通しがどうなっているか。

3. 県としては、これまでの取り組みに加え、今後、次のような対応を行っていく。

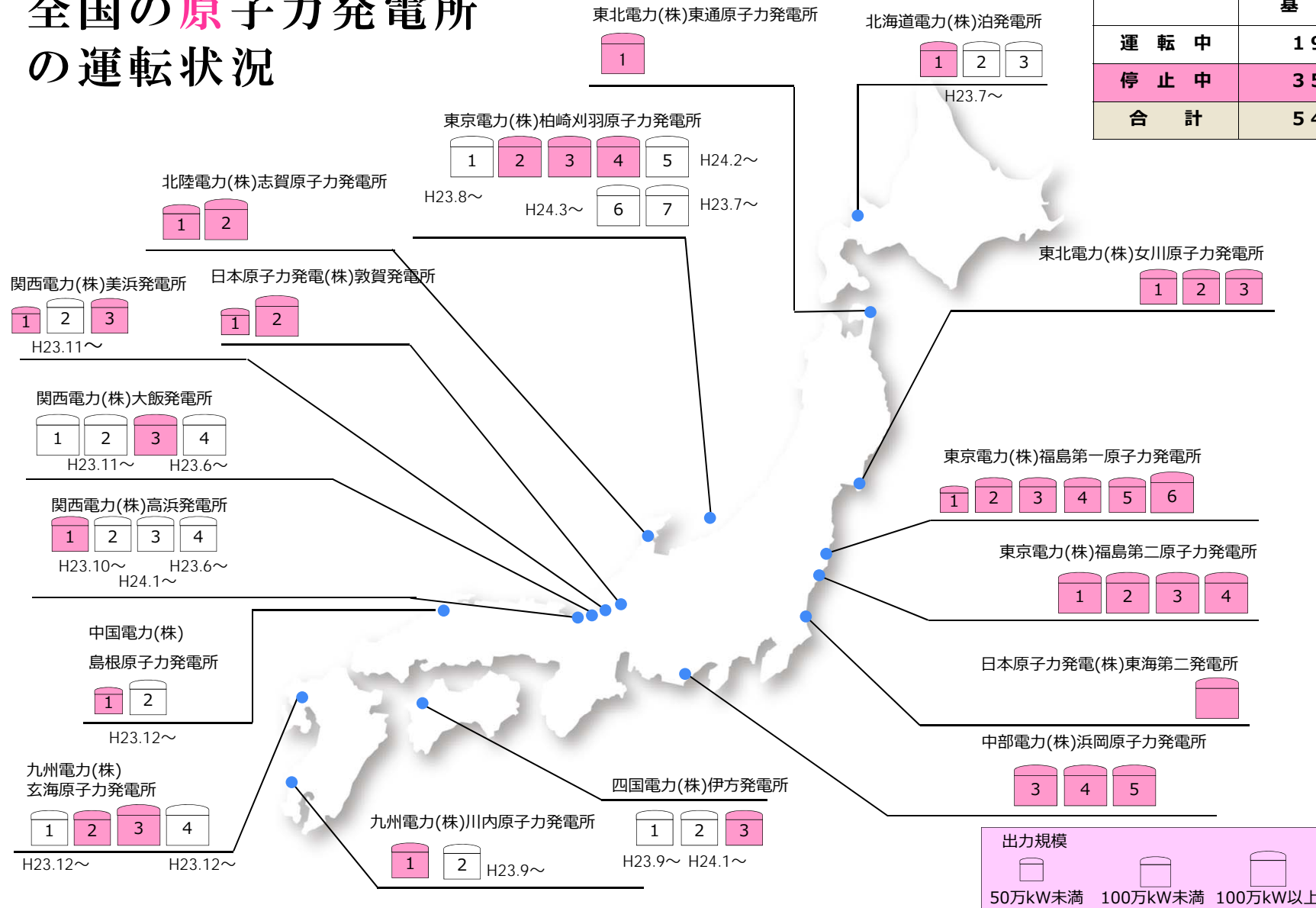
- (1) 上記1及び2の事項について、国及び九州電力から引き続き説明を聴取する。
- (2) 国が行った緊急安全対策の確認結果及びその説明について、外部の専門家の意見を伺う。
- (3) 原子力発電の安全性及び電力の需給との関係について、経済産業大臣など原子力発電と電力需給に関する国の責任者や九州電力からしっかりと説明を受ける。





全国の原子力発電所の 運転状況

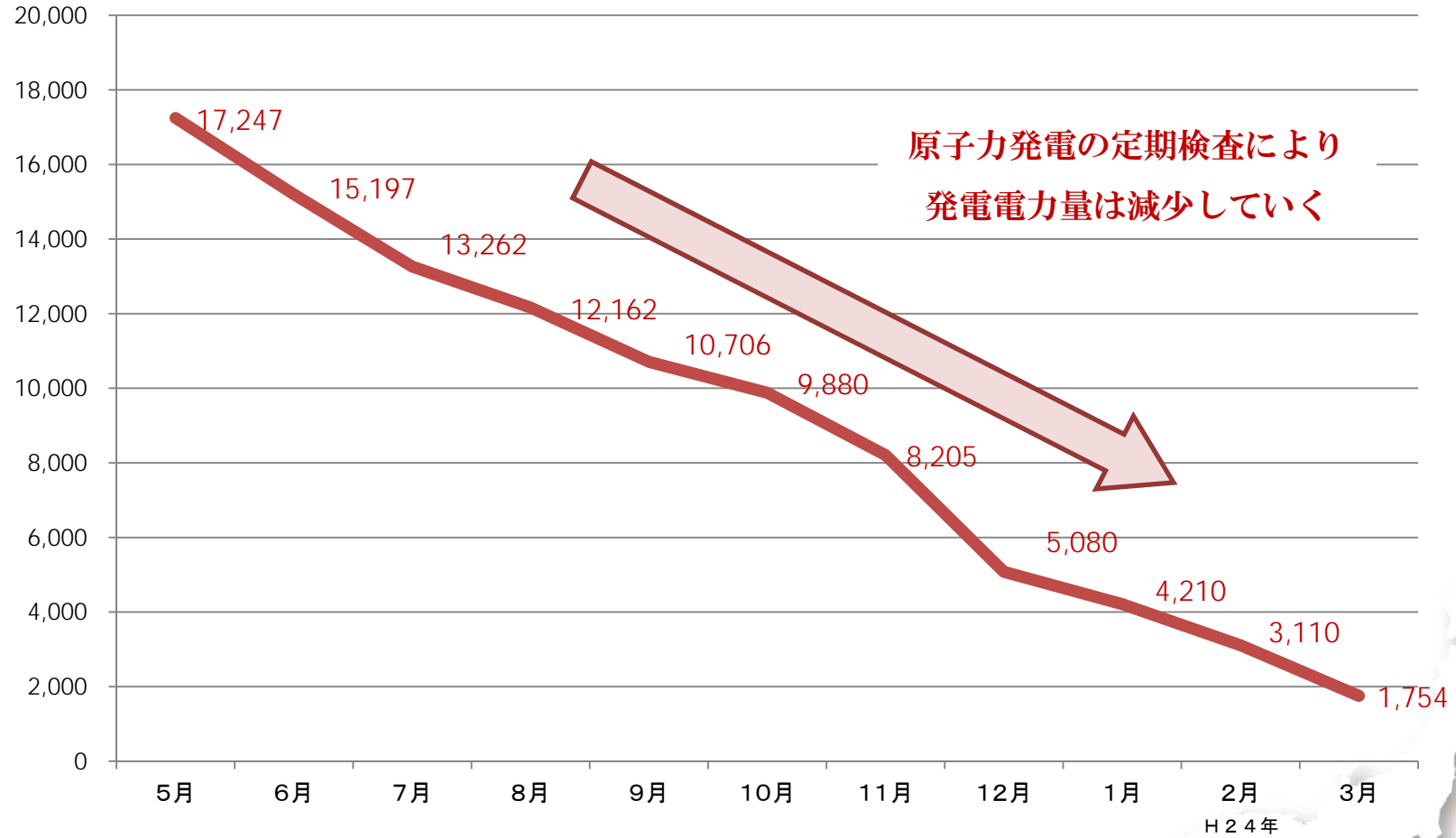
	基 数
運 転 中	19
停 止 中	35
合 計	54





このままでは、次々と原子力発電所が止まっていくことになる。

認可出力 (千kW)





電力供給に対する**政府**の考えは？

- 今運転中の原子力発電所も、定期検査で次々と運転停止していく。
- このままでは、すべての原子力発電所が運転停止していくかもしれない。
- にもかかわらず、政府は電力供給の見通しの全体像を示していない。



原子力発電に対する認識の**変化**

3月11日の大震災の**前**

- 原子力発電は、自然エネルギーと同様、二酸化炭素を排出しない発電方式で、今後も引き続き進めていくことが地球温暖化防止に役立つ
- 原子力発電か自然エネルギーか、という選択ではなく、原子力発電も自然エネルギーも進めていくことが必要



3月11日の大震災の**後**

- 省資源型ライフスタイルへの転換、エネルギー利用効率の効率化、未利用エネルギーの活用を図っていくことが大事
- 太陽光など再生可能エネルギーを充実させ、原子力発電に頼らなくても、それほど無理せずに暮らしていける社会を目指していくべき





佐賀県はエネルギーのトップランナーを目指します

佐賀県は石炭採掘、火力発電や水力発電、原子力発電と、常にエネルギーの最先端を歩き続けてきた歴史があります

今後、トップランナーである住宅用太陽光発電の一層の普及やメガソーラーの設置促進などを通して、再生可能エネルギーを先駆けて普及させることで、今後のエネルギー政策においても、全国のモデルとなるような存在でありたいと考えています。



唐津市肥前町納所地区風力発電導入事業



佐賀県太陽光発電トップランナー推進事業



メガソーラー